

うおーみんぐ

NO.31 新春

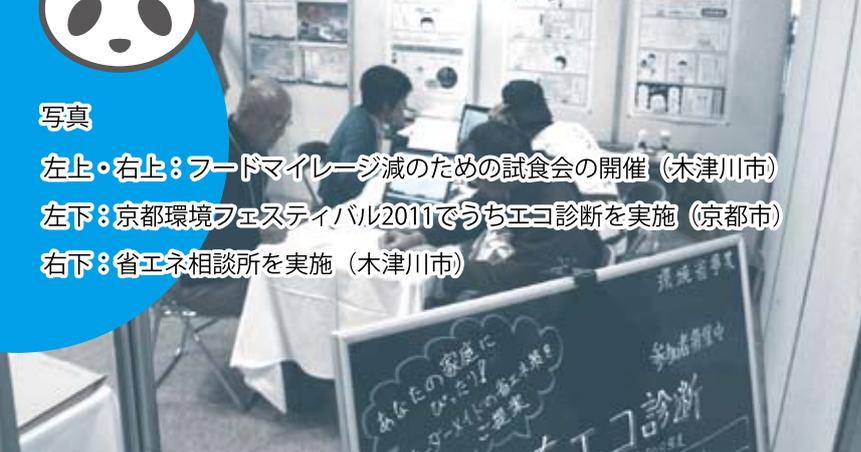
京都府地球温暖化防止
活動推進センター通信

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。

実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！

特集

ホームセンター大活用で
快適省エネ生活



写真

左上・右上：フードマイレージ減のための試食会の開催（木津川市）

左下：京都環境フェスティバル2011でうちエコ診断を実施（京都市）

右下：省エネ相談所を実施（木津川市）

京都府地球温暖化防止活動推進センター
Kyoto Center for Climate Actions

夏休み省エネチャレンジ2011表彰式を開催しました

活動レポート

お知らせ

「低炭素杯2012」に西山森林整備推進協議会が参加します！

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。



冬は、家庭が最も多くの二酸化炭素を排出する季節。しかも今年は、東日本大震災後の原子力発電所停止を受けて、強く節電が呼び掛けられています。

地球温暖化防止のための省エネ

電気だけではなく、ガスや灯油、ガソリンなど、化石燃料由来のエネルギー消費量をあらゆる時間帯に削減することが必要

電力不足に対応するための節電

家庭部門では、とりわけ午後六時前後の電力消費の削減が必要

上記のどちらかだけではなく、両方に対応することが求められています。ただ、冬の寒さをガマンで乗り切ろうとすると、長続きしないばかりか、健康に悪影響を及ぼすことも心配されますよね（※）。かといって、今すぐにたくさんのお金をかけた省エネリフォームをするのはなかなか難しいもの。

そこで、ホームセンターなどで売られている省エネグッズを活用して、寒い冬を快適に乗り切ってみませんか？すぐに導入できそうなものをいくつかを紹介します。

（※ 交通事故死亡者数よりはるかに多くの方が、家が寒いせいで亡くなっていると言われています）

断熱マット
フロアマット



カーペットの下の床の温度を測ってみました



断熱マットあり

断熱マット



フロアマット



断熱マットなし

床へ熱が逃げてる！

断熱がしっかりされていない床でコタツやホットカーペットを使用すると、熱は床にどんどん逃げてしまいます。そこで、断熱マットを使ってみませんか。2畳用、3畳用などが販売されており、値段も1000円前後とお手頃です。

台所など床が冷たい場所にフロアマットを敷くのもおすすめです。

電球型蛍光灯
LED電球



電球型蛍光灯

白熱灯

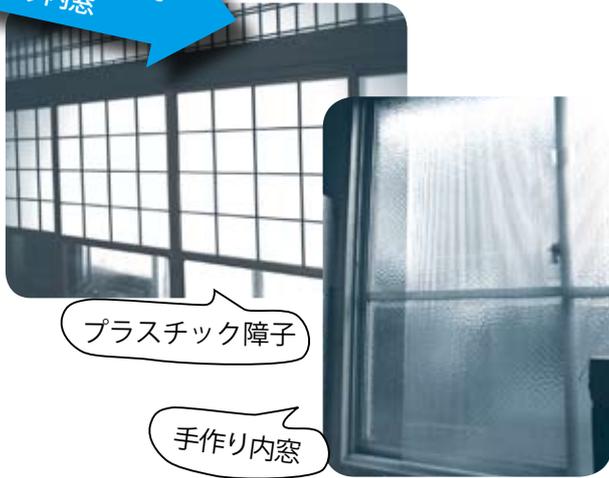
12W

54W

↑電球型蛍光灯と白熱灯の消費電力を比べてみました。60W型の製品の一例です

白熱灯（昔ながらの電球）を電球型蛍光灯やLED電球に換えれば、電力消費量は数分の1になります。調光機能が付いたものなど特殊な場合には、対応型のタイプを選ぶ必要がありますので、お店の人に相談しましょう。また、LED電球は、直下は明るいのですが、光が広がりにくいために全体としては暗く感じる場合があります。一気に全部の電球を換えるのではなく、まずは1つ換えて確かめてみることをお勧めします。

プラスチック障子
手作り内窓



プラスチック障子

手作り内窓

障子は、やわらかな光を取り入れつつ断熱効果を高められる優れたものの建具。もし穴が開いてしまっているなら、この機会にプラスチック入りの障子紙に張り替えてみませんか。強度と気密性が高まります。

障子がない家であれば、ポリカーボネート製のプラダンと、家具用のガラス戸レールを買ってきて、自作の内窓を作成することも可能。カッターナイフと両面テープがあれば、手軽に作成できます。

窓際のボード
窓に貼り付けるシート



窓断熱シート



窓の下方にたてかけるボード

カーテンを閉めていても下に流れ込む冷気が気になる方は、窓際に立てかけて使う断熱ボードがお勧め。冷気をシャットアウトしてくれます。

窓ガラスには、空気層のある断熱シートを張り付けてみましょう。水だけで貼り付けることができるタイプも売られています。

保温調理器具



冬は、シチューなど煮込み料理がおいしい季節。でも、長時間の煮込みは、その分多くのエネルギーを消費してしまいます。そこで、保温調理器具を使ってみませんか。いったん沸騰させて、保温効果の高い容器に入れてふたを閉めれば、あとは待つだけで煮込み料理のできあがり。焦げ付きの心配もありません。

何時に帰ってくるかわからないご家族を待つ時も、これなら温めなおしの手間も省けます。

節水シャワーヘッド



お湯を出すときに使われるエネルギーの強さは、テレビをつけるのにかかるエネルギーの200～300倍。お湯は大切に使いましょう。

お勧めなのが節水シャワーヘッド。勢いよくお湯が出てきますので気持ちよく浴びられますが、穴が小さいので、使用するお湯はぐっと削減できます。「なかなか家族がシャワー時間短縮に協力してくれない」というご家庭でも、これを付ければ効果は確実です。値段も数百円～2000円程度とお手頃です。

関心を持たれた方は、ホームセンターに
いって実際に見てみましょう！

夏休み省エネチャレンジ2011 表彰式を開催しました **2011.12.11**



夏休み省エネチャレンジは、小学生とその保護者に夏休みの1週間省エネを実践してもらう取り組みです。京都府温暖化防止センターでは、2011年度もこの取り組みを実施し、たくさんの方のご協力の結果、なんと**13,699**世帯の家族に参加していただくことができました。

この取り組みによって25トンの二酸化炭素を削減
128校の小学校が参加



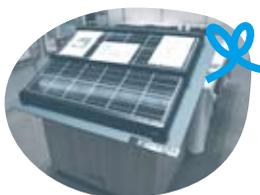
キャンペーンにあたっては、大阪ガス株式会社、関西電力株式会社、株式会社京セラソーラーコーポレーション、ケニス株式会社より、学校での環境教育に活用できる教材をご提供いただき、表彰式において、京都府知事からの賞状とともに、特賞受賞校4校へ贈呈いたしました。

4社からご提供いただいた特賞は以下の通り

大阪ガス賞
燃料電池実験セット

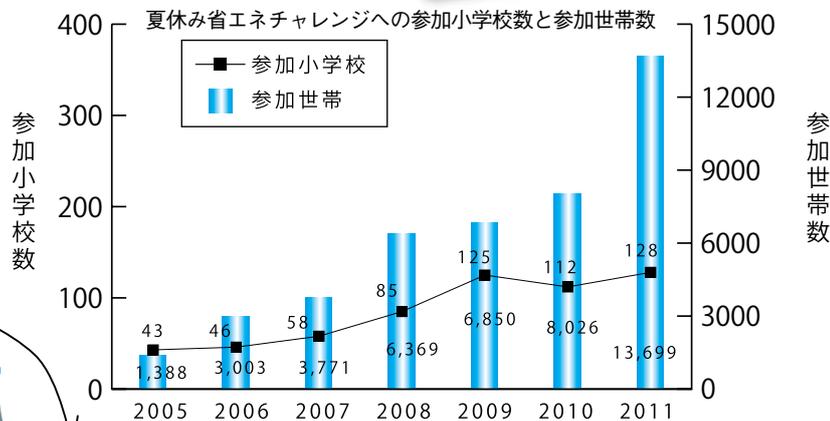


関西電力賞
グリーンカーテンキット



京セラ賞
太陽光発電体験キット

ケニス賞
手回し発電機セット



夏休み省エネチャレンジの実施にあたって、優秀な結果をおさめた小学校を表彰する「学校参加キャンペーン」も実施。今年は12月11日に京都環境フェスティバル2011のステージイベントで表彰式を行いました。

今年の表彰小学校は？

参加児童率部門（参加児童率第1位）

綾部市立志賀小学校、綾部市立物部小学校、大山崎町立第二大山崎小学校、木津川市立恭仁小学校、京丹後市立島津小学校、京都市立山王小学校、南丹市立川辺小学校、南丹市立摩気小学校、福知山市立菟原小学校、福知山市立佐賀小学校、福知山市立精華小学校（順不同）の計11校（参加学年の参加児童率100%）

二酸化炭素削減量部門（削減二酸化炭素量第1位）

大山崎町立大山崎小学校（約993kg）

平均得点部門（平均得点数第1位）

伊根町立伊根小学校（約89.4点）

参加世帯数部門（参加世帯数第1位）

福知山市立昭和小学校（531世帯）
大山崎町立大山崎小学校（531世帯）

特賞受賞小学校は・・・

大阪ガス賞／燃料電池実験セット：木津川市立恭仁小学校
※参加児童率100%の小学校11校の中から抽選の結果、木津川市立恭仁小学校に決定

関西電力賞／グリーンカーテンキット：大山崎町立大山崎小学校

京セラ賞／太陽光発電体験キット：伊根町立伊根小学校

ケニス賞／手回し発電機セット：福知山市立昭和小学校

特賞受賞小学校
についてご紹介
します

参加児童率部門 木津川市立恭仁小学校



木津川市立恭仁小学校は、京都府最南端の相楽地区、かつて恭仁京があった歴史のある自然豊かな地域にあります。現在50名の児童の皆さんが学んでいます。

夏休み省エネチャレンジへの学校全体としての参加は今年が初めて。さらに特賞初受賞となりました。

日頃から、地域の生き物を飼育・観察するなど、身近な生き物への学習を深めています。今回の取り組みでは、学級新聞で保護者への理解を求め、また、夏休み前から学校全体で節電を意識し、『エコ！エコ！』が合言葉になっていたそうです。

豊かな自然環境と地域の方々のご協力で毎年恒例となっているもち米の栽培活動など、自然を大切にする土台のある恭仁小学校のみなさん。今後も、エネルギーの使い方を見つめ、生活の中でできる取り組みを継続していただきたいと思います。



二酸化炭素削減量部門 大山崎町立大山崎小学校



大山崎町立大山崎小学校は、天王山と桂川に挟まれた交通の要衝として栄える町にあり、現在543名の児童のみなさんが学んでいます。

夏休み省エネチャレンジへの参加は今年で6年目。これまでは高学年のみの参加でしたが、震災をうけ全校で取り組むことになりました。特に6年生は意識が高まり、『環境委員会』を中心に、学校でも電気を消そうと熱心に取り組んだそうです。

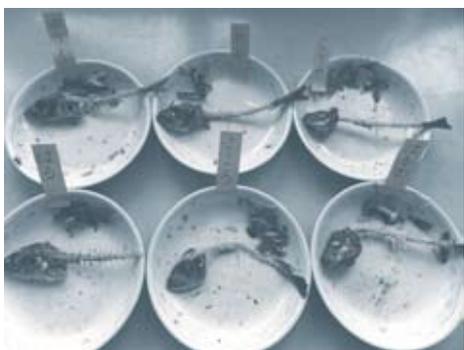
また地域を挙げて取り組まれている天王山を守る活動にも熱心です。4年生でどんぐりの苗を育て、5年生で山に植え、6年生で下草がりなど山仕事を体験しています。

地域の自然を大切にする心をしっかり育てている大山崎小学校のみなさん。省エネ活動もますます頑張ってくださいと期待しています。



特賞受賞小学校
についてご紹介
します

平均得点部門 伊根町立伊根小学校



伊根町立伊根小学校は、丹後半島の東に位置し、海と山の恵みの豊かな伊根町にあります。

現在44名の児童のみなさんが学んでいます。夏休み省エネチャレンジへの参加は今年で5年目。学校全体で取り組む夏のエコ活動として定着してきました。30名の児童のみなさんとご家族が参加され、初めての受賞となりました。ただ取り組むだけでなく、満点を目指したご家族の努力が伺えます。

海の幸、山の幸に恵まれた地域だからこそ、給食でも地産地消に取組み、フードマイレージを削減。『食』に関わる授業も盛んです。目の前の魚の食べ方・生態を学ぶことに始まり、地域の資源を活かした授業でふるさとへの思いを大きく育てている伊根小学校のみなさん。家族のみなさんとも協力して、ますます省エネ活動もがんばっていただきたいです。

参加世帯数部門 福知山市立昭和小学校



福知山市立昭和小学校は、鮭も遡上する由良川近く自然豊かな環境にあります。

夏休み省エネチャレンジには531人の児童のみなさんとご家族が取り組んでくださいました。夏休み省エネチャレンジへの参加は今年で4年目。豊かな自然環境のなかで学習を進めているみなさん。これまでも学校を上げて節電節水をしていましたが震災をうけて学校一丸となつての取り組みになりました。毎年行っている、校庭のイチョウからとれる銀杏の販売活動。児童アンケートの結果、今年はその収益を震災の義援金に充てることになったそうです。

また毎年恒例の「クリーンキャンペーン」では、地域・家庭・児童が一体となって学区内のごみを拾う活動も行っています。

そんな、ボランティア精神をしっかりと育てている昭和小学校のみなさん。おうちの方と一緒に、ますます省エネの取り組みにも励んでいただきたいと思います。

活動レポート

京都府地球温暖化防止活動推進センターの主な活動を報告します

京都府産水産物が社員食堂や学校給食に登場 食の地産地消で温暖化防止！ フードマイレージCO₂削減をめざして！

京都産食材を活用するための試食会を、2011年8月に企業の社員食堂向けに、11月には木津川市学校給食関係者向けに実施しました。試食会では、京都府水産関係者から、舞鶴での学校給食現場での魚導入事例の報告を聞くなど、実際に昼食等に水産物を活用するための情報交換を行いました。

その結果、10月から始まった「社員食堂で地産地消 美味しおす京都（京都GPNと共催）」参加企業のオムロン、村田製作所、堀場製作所ではブリやイワシ、キスなどの舞鶴産魚（およそ計800食）がランチに登場しました。提供された魚の味もおいしく、社員からも好反応でした。また、木津川市学校給食では、なんと2012年1月にカマスのフライ（4000食）がメニューに加わることが決定しました。

それぞれのユーザーエンドによって、必要な食材の大きさや形、導入可能な値段や入手方法等が異なります。生産者その要望を聞き、その要望にあわせて食材を提供する、その情報交換の場として、「試食会」が活かすこととなります。

しかし、今回提供された魚の単価が通常扱いの単価より割高であり、特別メニューとしてしか提供できないという課題も見えてきました。どのように地元産水産物の利用を増やせるか、今後も関係者との協議を深め解決策を検討していきたいと考えています。



村田製作所で取り組まれている地産地消のランチメニュー

2011.12.10-11

京都環境フェスティバル2011に出展しました（京都パルスプラザ）

今年は、フードマイレージ・地産地消に関する展示、うちエコ診断会、省エネ相談所（京のアジェンダ21フォーラムと共同で実施）、そして夏休み省エネチャレンジのポスター展示（京都府地球温暖化対策課と共同で実施）を行いました。夏休み省エネチャレンジ事業は今年で9年目を迎え、参加世帯・小学校ともに増加していますが、府内の家族数と比べるとまだまだその数は少なく、もっと多くの方に取り組みを知ってもらうため、概要や実績をまとめたポスターを手作りで作成し展示をしました。

また、うちエコ診断へは両日で16人、省エネ相談所へは、約130人の方にご参加いただきました。



夏休み省エネチャレンジの概要を紹介した手作りのポスター

お知らせ

「低炭素杯2012」に 西山森林整備推進協議会が 出場します！

低 炭素杯は、日本各地で行われている地域に根差した温暖化防止活動の交流・コンテストの場。2007～2009年度に環境省により行われた「ストップ温暖化『一村一品』大作戦」の後継事業として実施されているものです。

京 都からは、見事に書類審査を通過した「西山森林整備推進協議会」（事務局：長岡京市環境政策推進課内）が出場することになりました。取り組み名は『森を守り森を育てる ～薪ストーブが学校にやってきた～』。この取り組みは、企業・行政・市民の連携で西山の保全活動を行い、切り出した材を学校の薪ストーブで利用。児童は、山でひろったどんぐりから苗を育てて植樹し、この木が何年後にまた薪として学校に帰ってくるという、非常にスケールの大きなものです。

当 日に東京近辺におられる方は、ぜひ低炭素杯会場に足をお運びください。



低炭素杯 2012

日程：2012年2月18日(土)～19日(日)

会場：東京ビッグサイト 国際会議場ほか(東京都江東区有明3-11-1)

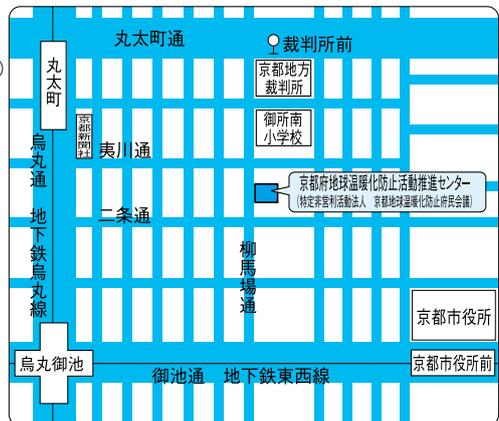
詳しくはこちら <http://www.zenkoku-net.org/teitansohai2012/>

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

(平成 24 年新春号 平成 24 年 1 月発行 (年 4 回発行))

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)
理事長：郡 崙 孝 運営委員長：浅岡 美恵
〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目 283 番 4
TEL：075-211-8895 FAX：075-211-8896
URL：http://www.kcfca.or.jp E-mail：center@kcfca.or.jp
編集：木原浩貴 伊東真吾 川手光春 竹花由紀子 西澤浩美 洲上佑樹 吉川春菜

法人の活動を支援くださる会員を募集しています！
年会会費 正会員 (個人)：2,000 円 正会員 (団体)：3,000 円
準会員 (個人)：2,000 円 準会員 (団体)：3,000 円
賛助会員：10,000 円
詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率 100%の再生紙に、大豆インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

